

ロックウール栽培におけるキュウリの吸水量と
葉面積,日射量との関係

牛田均・松崎朝浩・白井英清

キュウリの吸水特性を把握するために,葉面積と日射量が吸水量に及ぼす影響を日中と夜間に分けて検討した。

1. キュウリの吸水パターンは,定植から収穫初めまで,収穫初めから 1 週間とその後収穫終了までの 3 期に分けられた。
2. 日単位の日中の吸水量を推定するために,定植から収穫初めとそれ以降に生育期間を分割して,日射量と葉面積からそれぞれの吸水量について重回帰式を作成した。作成した重回帰式からの推定値は,実測値とほぼ一致していた。
3. 収穫初めまでの吸水量は,日積算日射量よりも全葉面積の影響の方がやや大きく,その後の吸水量は,葉面積よりも日積算日射量の影響の方が大きかった。
4. 夜間の単位時間当たり吸水量は,葉面積と高い相関関係があった。
5. キュウリの吸水量が多くなり,ロックウール内に間隙が生じると,ロックウールの保水力は減少した。

キーワード:吸水量,葉面積,日射量,キュウリ,ロックウール栽培